

令和4年度 学年別学力向上プラン

(6年部)

項目	重点目標	課題	課題解決の方法	11月 評価		2月 評価	
指導の改善・工夫	○ 基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の読み書きが苦手な児童が多い。 ローマ字の習熟に個人差が大きい。 既習事項が定着していない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 小テストを定期的に行ったり、漢字ノートの宿題のやり直しを確実にさせたりする。 タブレットを活用して、継続的にタイピング練習をする。 授業の中で既習事項が出てきたら、取り上げて確認する。 ドリルパークなどを活用して、前学年までの復習をする。 				
	○ 考え表現する力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 文章の読解力の個人差が大きい。 条件に合わせて解答することが難しい。 文章題から立式することが難しい児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材文の叙述を根拠に様々な立場の考えを書く活動を授業に取り入れる。 条件を入れた振り返りを書く活動を入れる。 関係図や数直線などを使って、立式する習慣をつける。 				
学習習慣の確立・学習環境の整備	○ 学習規律の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 全体の流れが止まるような自由な発言をする児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞くときと、発言をするときのメリハリを付ける。 				
	○ 家庭学習の習慣化	<ul style="list-style-type: none"> 決まった児童が宿題を忘れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者を連携しながら、声掛けをし、忘れた際は、学校で確実に取り組ませる。 				
	○ 教室環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 整理整頓ができていない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 決まった場所に必ず片付けるよう声掛けする。 				
	○ 人間関係づくり	<ul style="list-style-type: none"> 周りの状況や気持ちを考えずに、発言する児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 早期発見・早期対応に努める。 				

評価 A:達成できた B:おおむね達成できた C:課題